

令和 8 (2026) 年度

受講生 募集

＼ 受講料 無料 /

栃木県 農福連携技術支援者 育成研修



農福連携 技術支援者

農福連携に携わる当事者（農業者・障害者就労施設の就業指導員・障害者本人等）に対し、農福連携を現場で実践する手法を具体的にアドバイスする専門人材のことです。修了試験を含む全ての研修課程を受講し、必要な知識と技能を身につけたと認められた方は、研修修了者となり「農福連携技術支援者（農林水産省認定）」として、現場における支援をすることができます。



Step01

座学研修（e-ラーニング）

18.5 時間

受講者専用サイト（YouTube）の URL より 9/4（金）～9/28（月）に各自で受講のうえ、確認テストを受けて回答を提出

Step 02

実地研修＋グループワーク

3.5 日間

10/13（火） 13:00～17:15

10/14（水）～10/16（金） 9:00～17:15

支援技法に加えて畑での実習や、障害福祉サービス事業所の見学



Step01

座学研修（e-ラーニング）9/4（金）～9/28（月）



受講者専用サイト（YouTube）にて、受講期間中に各自の都合のよい時間に視聴してください。

【受講内容】

- * 農福連携をめぐる情勢
- * 農福連携概論
- * 社会福祉と障害者福祉

- * 障害者雇用と障害福祉サービスの仕組み、関係機関の役割

- * 障害特性と職業的課題の基礎

- * 農業と農村社会

- * 農業経営の仕組み

- * 農作業の流れ

- * 農業者による農福連携の経営実務 など

※受講期間中に確認テストの回答が提出されなかった場合、又は確認テストの結果、必要な知識を身に付けたと認められない場合については、第2講座を受講することができませんので、御注意ください。



Step02

実地研修＋グループワーク 10/13（火）～10/16（金）



10/13 火 13:00～17:15

道の駅 うつのみや ろまんちっく村

座学

グループワーク

オリエンテーション

農福連携技術者支援者の役割と実践事例

10/14 水 9:00～16:35

道の駅 うつのみや ろまんちっく村

座学

グループワーク

兵庫県立大学 客員教授 豊田正博氏

障害特性に対応した農作業支援技法



実地研修

振り返り（演習）

農作業における作業の細分化・難易度評価・作業割当の技法

実習① セルトレイへのは種



10/15 木 9:00～17:15

実地研修

振り返り（演習）

実習② 葉物の収穫・調製作業

実習③ 福祉事業所における農作業以外の作業分析と難易度表作成



10/16 金 9:00～16:30

社会福祉法人パステルCSW おとめ（小山市）

実地研修

修了試験

障害福祉サービス事業の運営実務 パステル理事長 石橋須見江氏

修了試験

受講対象者

次のすべての要件を満たす方。定員 20 名程度。応募者多数の場合は栃木県在住者優先。

- ①農福連携に関わっている方、またはこれから関わろうとする方（農業者、障害者就労施設職員、JA 職員、自治体職員等）
- ②研修内容のすべてを受講できる方 ③認定後、「農福連携技術支援者」として活動できる方

受講お申込み

下記 URL 又は QR コードの申込みフォームからお申込みください。

<https://forms.cloud.microsoft/r/fD5DzyhjJa> 申込締切 2026.08.26（水）12:00 厳守

応募者全員に対し、8/31（月）までに、受講者として決定したか否かを、申込みいただいたメールにてお知らせします。



お問合せ

一般社団法人 栃木県若年者支援機構 しごとや  shigotoya@tochigi-yso.org